

平成 16 年度 中学生のための景観教室

実施報告書

はじめに

宮崎市では、平成2年4月に宮崎市都市景観条例を施行し、「豊かなひろがりのある、花のにあうまち・みやざき」を都市景観形成の基本理念として、緑豊かな自然と文化に育まれた、宮崎らしい、美しく魅力あるまちづくりを推進しています。

「都市景観」とは、視覚として捉えられる建築物や木々の緑などの都市の風景やこれを取りまく遠景としての自然環境はもとより、市民生活の中から生まれてくる街の表情、文化、心象風景など、質的、精神的なものを含めた総合的なものとして受け止められるものです。そのため、都市景観は単に物理的な環境を示すものではなく、市民が営む都市活動、都市環境が総括された個性、感性の表現として、その都市の文化水準を表すものといえるものです。

私たちの住む宮崎市には、緑豊かな山々や美しい海岸線、^{とろとろ}滔々（水が広くみなぎり、勢いよく、盛んに流れて行くさま。）と流れる大淀川などの恵まれた自然が多く残されています。それらを活かしながら、文化の香り豊かな快適な市民生活が営めるように、自然環境と都市空間をバランスよく配置し、市民が共有できる良好な景観を有するまちを創っていく必要があります。

そのためには、市民一人ひとりの「景観」に対する意識の高揚を図ることが大変重要になっています。特に、将来の景観形成の担い手である子供たちに対して、学校教育の中で景観やまちづくりに関する話題を積極的にとり上げ、景観について学ぶ機会を提供するためのしくみが必要とされています。

最後に、この「景観教室」は、景観に関する学習を社会科の授業にとりあげた初の試みとして、平成14年度から実施しているものです。実施にあたり、ご指導、ご協力をいただいた宮崎市立生目台中学校の先生方や楽しい雰囲気です。授業に臨んでいただいた生徒のみなさんに対し厚くお礼申し上げます。

目 次

第1章 景観教室の概要	・・・	P 1
第2章 景観教室の進め方 STAGE 1 (1時間目)	・・・	P 3
第3章 まちづくりに関する学習 STAGE 2 (2時間目)	・・・	P 6
第4章 まちなみ模型づくり STAGE 3 (3 ~ 13時間目)	・・・	P 11
第5章 まちなみ観察・調査研究 STAGE 4 (夏休みの活動・14時間目)	・・・	P 17
第6章 景観教室の学習を振り返って STAGE 5 (15時間目)	・・・	P 20

第1章 景観教室の概要

1 実施目的

「都市景観」は、市民一人ひとりの様々な生活意識や価値観に基づく活動の結果として創り出されるものであり、良好な都市景観の形成を推進するにあたっては、市民や事業者の景観に対する知識や認識を深めることが重要です。市では、このような市民の意識を醸成すべく、道路や河川などに地域の方々と協働して花を植えたり、また、景観シンポジウムや講演会といった各種イベントを開催するなど、様々なかたちで情報提供や啓発活動に努めているところです。

景観教室は、「都市景観」をテーマにした授業を学校教育の中にとりこむことにより、将来の都市景観形成の担い手である子供たちの景観に対する興味や関心を喚起し、自主的な活動を通じて知識の習得を図る試みです。

2 実施期間

平成16年6月 ~ 16年12月

3 実施協力

宮崎市立生目台中学校（小森達郎校長）

4 実施科目

2年選択A 社会科（担当：橋口康明教諭）

生徒27名

5 実施項目

STAGE 1 景観教室について（オリエンテーション）

景観教室の内容、スケジュール等の説明

STAGE 2 まちづくりに関する学習

都市計画と住民参加のまちづくりについて

都市景観からのまちづくりについて

STAGE 3 まちなみ模型づくり

200分の1のスケールでまちなみ模型作成

STAGE 4 まちなみ観察・調査研究

夏休みの自主研究、調査研究内容の発表

STAGE 5 景観教室の学習を振り返って

6 実施概要

時間別実施状況

1 時間目	オリエンテーション 景観教室の進め方、スケジュール等説明、 グループの編成：6 班（各班 3～5 人）
2 時間目	まちづくりについて 都市計画と住民参加のまちづくりについて 都市景観からのまちづくりについて 夏休みの課題（まちなみ観察の目的など）
夏休み （8 月）	まちなみ観察・調査 学校や自宅周辺、旅行先などで、気になった風景 やまちなみを写真に撮り、撮影場所や感想をレポ ートにまとめることにしました。
3 時間目	都市景観について 模型づくりの前に、再度、「景観」について学習。 景観形成から見た都市の空間について 沿道景観のコントロール手法について
4 時間目 ～ 1 3 時間目	模型づくり～ 各班でテーマを決めて、まちなみ の模型を制作。 土台づくり（道路、土地の区画割り） 建物その他施設の製作 6 つの班の模型について、特徴その他感想を発 表後、改善すべき点等についてみんなで検証し ました。 建物の配置や緑による修景等の改善を行いました。
1 4 時間目	まちなみ観察・調査の発表 夏休みに各自が撮影した写真を利用して、まちな み観察のレポートをまとめ、一人ひとり発表を行 いました。
1 5 時間目	景観教室のまとめ 実施報告書の作成準備（各人・各班ごとに実施内 容や感想をまとめました。）

第2章 景観教室の進め方 (STAGE 1)

1時間目 - 景観教室について (オリエンテーション) -

景観教室で学習する内容について、前年度の状況 (宮崎東中学校) を紹介しながら、実施スケジュール等を説明しました。



オリエンテーション

- ・「景観教室」の進め方、スケジュール等について
- ・班分け (1班3人～5人、6班に編成)



まちづくりに関する学習

- ・都市計画課 (まちづくり) の仕事について
- ・都市景観からのまちづくりについて
- ・まちなみ観察の視点、調査目的



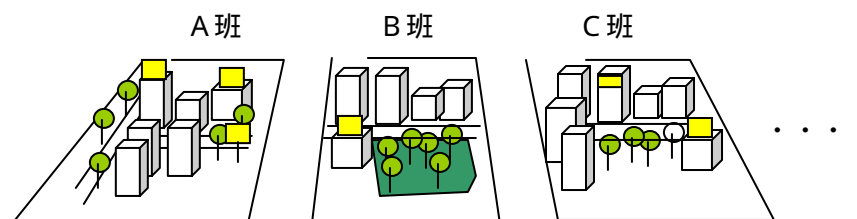
夏休みの課題 (まちなみ観察・調査)

- ・生徒一人につき1個レンズ付きフィルムを配付します。
- ・学校や自宅周辺のほか、夏休み中の旅行先などで、気に入った風景やまちなみなどを写真に撮り、撮影場所、感想などをメモしておきます。
- ・「まちなみデザイン」をテーマに、評価できるまちなみ、好ましくないものの事例や建築物、緑などの景観要素について自主研究 (調べ学習) します。
 - ↳ 夏休みあけに、レポートを提出します。



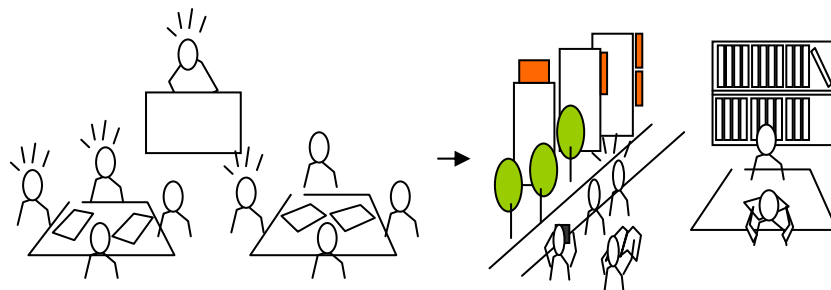
実習コーナー（模型づくり）

- ・テーマに沿って、調査した景観事例をもとに、景観要素と考えられるパーツを作り、各班がまちなみの模型をつくります。
- ・個別パーツによりどのように変化するか学習します。
- ・各班の模型を連続し、まちなみを認識させるようにします。



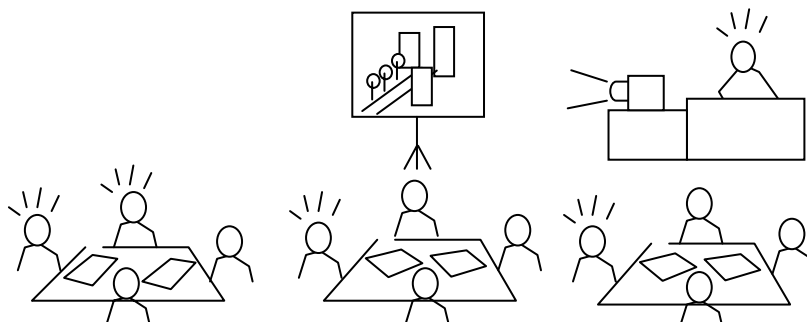
まちなみ観察・調査結果のまとめ

- ・夏休みの活動について、各人が持ち寄った写真やレポートをもとに班ごとに発表内容のまとめを行います。
- ・発表テーマ、ポイントの確認及び役割分担を決定します。



調査・研究の発表

- ・各班による事例調査等の発表
- ・建築デザインや緑化の手法などについて、各班の自主研究課題を、プロジェクター等を利用して発表します。





景観教室のまとめ

- ・ 景観教室のまとめを行います（調査、実習内容のまとめ）。
- ・ 実施報告書（小冊子）に載せる各人、各班の感想その他の内容を検討します。

模型づくりを終えた時点で、まちづくりについてもっと詳しく勉強したい事項や疑問などがある場合には、特別（追加）授業を行います。

例）緑のまちづくりについて（公園緑地課）・・・など

景観教室の実施内容については、

- ・ 小冊子にまとめ、参加生徒に配付します。
- ・ 今後の学校教育との連携を図るため、各学校にも配布します。
- ・ 実施内容については、市のホームページに掲載します。

第3章 まちづくりに関する学習（STAGE 2）

2 時間目 - 都市計画と住民参加のまちづくり -

まちづくりのための計画～都市計画について

わたしたちのまち・みやざきには、たくさんの人が様々に働き、学び、暮らしています。市民のみなさんが安全で快適な場所として、まちを健全に維持し、豊かに育てていくためには、まちづくりのための計画（都市計画）が必要となります。

道路、公園、下水道、さらには病院や学校などの公共性の高いものを都市施設と呼び、どこにどのくらいの規模でつくるのか、まちの大きさや人口などとのバランスを考えて整備することが求められています。また、まちのなかの貴重な自然環境を開発から守ったり、良好な都市の景観を守り、育てることも重要です。



Check さまざまな都市施設

私たちの生活は、そこに住まいがあるだけでは成り立ちません。快適な暮らしのためには、住まいと住まいを結ぶ道路や、憩いの場としての公園などのさまざまな都市施設が必要になります。

道 路

歩行者や自動車などの交通路としてはもちろん、防災空間（火災の広がりを道路空間でしゃ断）、環境空間（風通し、明るさ、開放感などを確保）、収容空間（下水道や電線などを埋設）としての機能をあわせ持ちます。

公園

日常生活に密着した住民の憩いの場や住民同士の交流の場であり、スポーツ・レクリエーションの場、災害時の避難場所としての役割を担います。

下水道

家庭や工場などから出る汚水を排除し、悪臭や害虫、伝染病などの発生を防止し、雨水を排除して浸水からまちを守り、集めた汚水を浄化して海や川に放流する機能を果たします。

その他

このほかに、供給・処理施設としての上水道やごみ焼却場、教育文化施設としての学校や図書館、医療福祉施設としての病院や保健所などがあります。

Check まちづくりのルール

まちには、守らなければならないマナーやルールがあります。

まず、土地は、たとえ個人が所有するものであっても、周囲の状況を考慮して利用することが求められます。例えば、住宅地の中に、突然、大きなビルや工場を建てたらどうなるでしょう。静かだった住宅地は日当たりが悪くなり、出入りする車などで交通量が増え、騒音が出るなど住みやすい環境が大きく変わることになります。

このような問題を未然に防ぐために必要なのが、土地の使い方や建物の建て方についての共通のルールです。

都市計画法（１９６８年公布）

都市の発展と整備のための方法を定める法律

建築基準法（１９５０年公布）

建築物の敷地、設備、構造、用途についての基準を定める法律

Check 住民参加のまちづくり

地域住民にとって身近な事柄についての都市計画は、市町村が住民の意見を踏まえて策定・実施します。

事前に、公聴会や説明会を開いて、計画案を広く住民の方々に示し、その案に対する地域住民の積極的な意見や要望を計画に反映させていくことで、よりきめの細かい、その地域にふさわしいまちづくり計画を実現させることができます。

- 都市景観からのまちづくり -

都市景観とは？

視覚として捉えられる

建築物や木々の緑などの都市の風景

都市の風景をとりまく自然環境

市民生活の中から生まれてくる街の表情、文化、心象風景



Check 見える環境であり、生活環境そのものです。

物、人、場所の相互関係により成立するもので、これらをどのように調和させ、秩序を保ち、融合させていくかが課題となっています。

なぜ、景観を考えることが重要になってきたのでしょうか？

経済性、機能性が最優先

- ・ 技術的な面にしか配慮がなされなかったこと。
- ・ 規制の範囲内であれば、建築が自由であったこと。
- ・ 歴史的価値を否定した開発が進行したこと。

など、経済成長を重視したことで、自然環境の破壊や公害問題など様々な弊害があらわれ社会問題化しました。

法制度の未整備

私的財産である建築物などについて、景観の観点から規制・誘導を行う明確な根拠（法令）が存在しませんでした。

理論的、技術的検討の遅れ

「質」で判断されるデザインの基準づくりが、行政になじみにくかった（美の基準づくり）。



Check ゆとりある、豊かな生活環境の追求

全国一律の法制度のもとで、画一的な都市化が進展する過程で、歴史的なまちなみの保存や良好な自然環境に対する関心が高まり、身近な生活環境をより豊かなものにすることが求められるようになってきました。

景観行政の流れ

歴史的景観の保存から

歴史的背景を無視して進行する建築、開発に対する批判が、歴史的町並み保存・保全を行政施策に位置づける動きに発展し、その制度づくり（条例・要綱）へと展開していくこととなります（京都市、金沢市など）。



都市景観（デザイン）づくりへ

歴史的景観の保存・保全から出発した取組が都市全体の景観づくりを視点とした活動へとつながっていきます（横浜市・神戸市）。

先駆的な都市景観（横浜市 1965年頃～）

都市政策に「まちのデザイン（景観）を継続的にコントロールする」という概念を導入し（アーバンデザイン行政）、都市空間の質的向上をめざして各種のプロジェクトを展開していきました。

- ・馬車道、伊勢崎などの商店街の再生
- ・重要地区のデザインガイドの策定
（山下公園周辺、日本大通り地区、みなとみらい21地区）
- ・歴史的建造物の保存など



宮崎市の景観行政

平成2年に「宮崎市都市景観条例」を制定し、具体的な施策に取り組んできました。

都市景観形成地区の指定（4地区）

- ・橋公園通り地区
 - ・高千穂通地区
 - ・一ツ葉リゾート地区
 - ・日南海岸地区
- } 景観形成の基準を設定

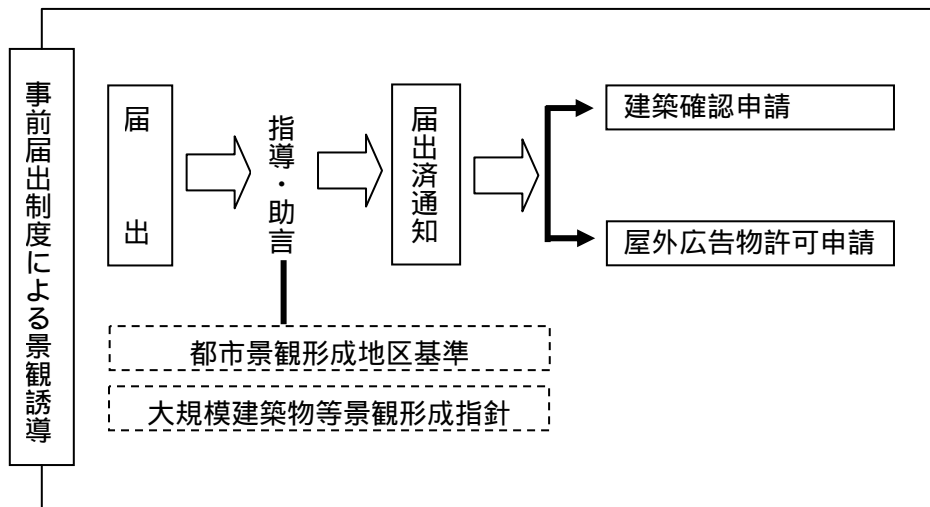


Check 具体的な景観誘導の手法

景観形成地区の景観を保全・創出するため、建築行為等の内容について届出を義務付け、事前に協議を行います。

大規模建築物等の事前届出制度（景観形成地区以外）

大規模な建築物や工作物は、都市景観形成に及ぼす影響が大きいことから、その事業者に対し、建築行為等を行うに当たって景観上どのように配慮したか、事前にその内容について届出を行うよう義務付けています。



市民意識の高揚

都市景観条例に基づく届出（協議）制度は、民間（個人又は事業者）を対象としており、建築物等の形態・色彩等をコントロールしようにも、建築の自由、表現の自由に関わる問題があり、行政指導による景観誘導にも限界があります。

そこで、市民一人ひとりの景観に対する意識を高めることが重要になっています。



Check 景観に対する市民意識の高揚

- ・宮崎市都市景観賞（平成4年度～）
- ・専門家による講演会等の開催
- ・違反広告物の市内一斉除却
- ・まちなみ観察隊の実施（平成12、13年度）
- ・景観教室（平成14年度～）

第4章 まちなみ模型づくり (STAGE 3)

3時間目 - 模型づくりのまえに -

都市景観形成の手法について

まちなみの模型づくりを行う前に、都市景観の形成手法（より良い景観づくりのための手法）について勉強しました。

景観形成から見た都市の空間

景観形成の観点から、都市の空間を考えてみたとき、重要なポイントとして以下の三つの空間構成の概念が必要とされています。

・ 公的領域

道路空間に代表される公共の空間 = 公的財産

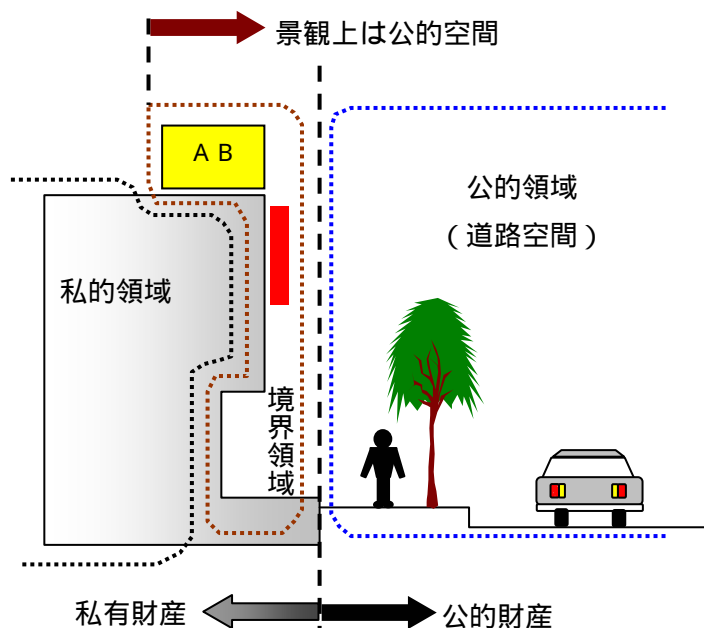
・ 私的領域

個人や会社等の民間が所有する土地建物等 = 私的財産

・ 境界領域

私的領域に属するが、公共の空間に面していることから、言わば半公共的な空間として位置づけられ、都市の良好な景観の形成を図るうえで、この境界領域をいかに誘導するかが課題となっています。

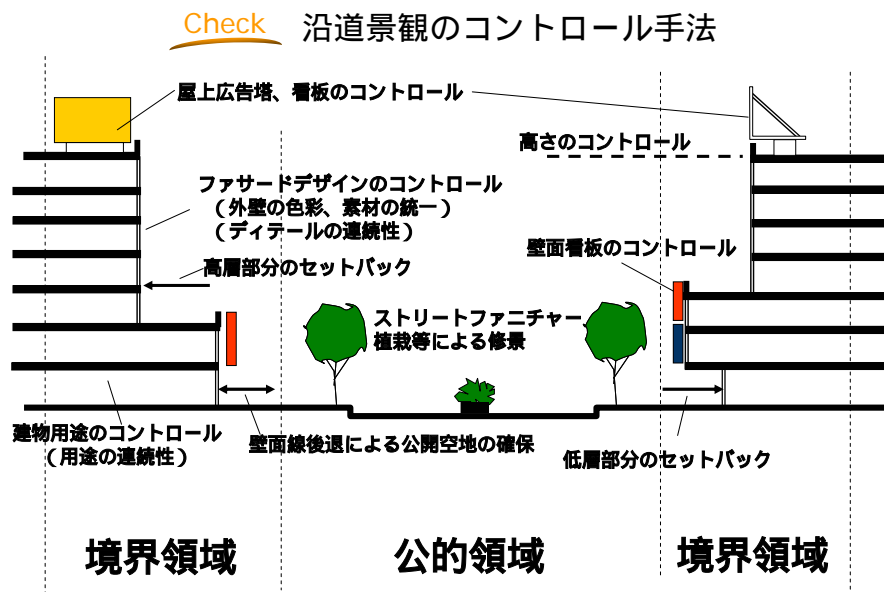
Check 景観形成からの都市空間の概念図



沿道景観のコントロール手法

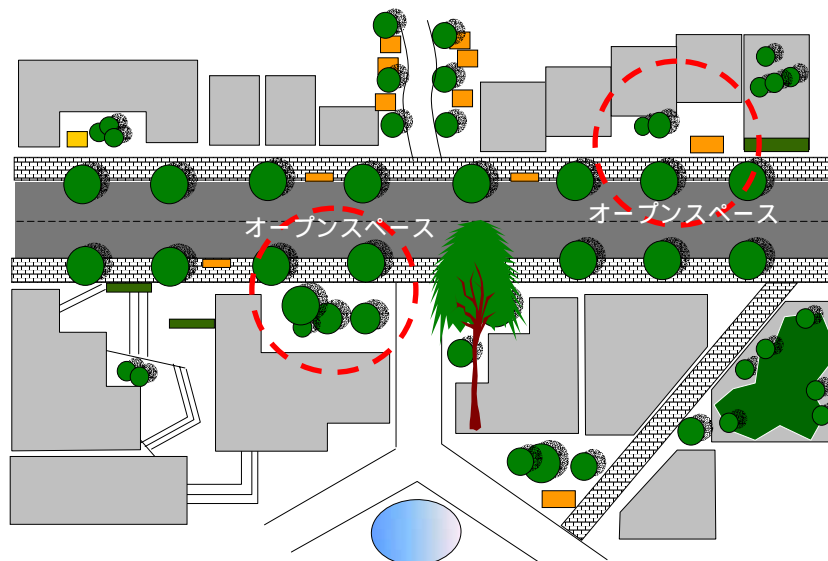
道路空間から見た景観、道路に沿って続く連続したまちなみ景観を「沿道景観」といいます。良好な景観の形成を図るためには、景観を構成する様々な要素に目を向け、適正にコントロールすることが求められています。

- ・ 建物の屋上や壁面に設置される屋外広告物（看板）
- ・ 建物の高さ（スカイライン）
- ・ 道路境界からの建物（壁面線）後退（＝セットバック）
- ・ 建物の外壁の色彩や素材の統一などファサード（前面）デザインなど



Check 都市空間の演出方法

（建物・植栽の配置、オープンスペースの確保など）



4 ~ 13時間 - 模型づくり -

土台づくり（道路や敷地の区画）

メインストリートとおおまかな土地の区画線を記入した設計図をもとに土台をつくりました。



建築物などの箱物づくり

スチレンボードを切り貼りして、建築物などの箱物を組み立てていきます。

普段の生活でハサミやカッターナイフをあまり使わないせいか、最初のうちはぎこちない手つきでしたが、けがをしないように注意して作りました。

Check 三角スケールの縮尺（目盛り）に注意！

三角スケールには、1/100、1/200、1/250、1/300、1/500、1/600の縮尺目盛りがついています。まちがえないように使用しなければなりません。



各班の模型の特徴など

1 班から 6 班までの模型がそれぞれ完成し、班ごとに発表を行いました。

1 班



4 班



2 班



5 班



3 班



6 班



各班の模型の特徴

- 1 班～ アーケードのあるまちなみ
- 2 班～ 高層ビルのある近代的なまちなみ
- 3 班～ 屋上緑化と近未来のビルのあるまちなみ
- 4 班～ 奇抜な建物のあるまちなみ
- 5 班～ 緑の多い歩道空間と屋上緑化のあるまちなみ
- 6 班～ 公園や緑の多いまちなみ

どのようなねらい、どのようなまちなみをイメージして模型をつくりましたか？

- 1班～ 緑がいっぱいある夢のアーケードタウンをイメージしました。
- 2班～ シンプルな中にも個性を持った、「白」をイメージしました。
- 3班～ 緑豊かな街をイメージしました。
- 4班～ 緑のたくさんある街をイメージしました。
- 5班～ 緑を多く使うとともに、高いビルを少なくして環境のことも考えた街をイメージしました。
- 6班～ 緑がたくさんあって、ちょっと不思議な街をイメージしました。

模型をつくるときに、一番気をつけたことは何ですか？

- 1班～ 建築や緑の位置や割合、アーケードの位置に気がつかいました。
- 2班～ 他の班と異なる模型を作ることに心がけました。
- 3班～ 緑や建物の作成には気がつかいました。
- 4班～ 建築物等の高さや全体のバランスに気がつかいました。
- 5班～ 建物の高さや位置に気がついた。また、緑の位置にも気がついた。
- 6班～ 建物の大きさや見た目、木の間隔や大きさに気がつかいました。

自分たちの模型で、うまくできたところは何ですか？

- 1班～ 屋上の緑が多くて全体的に落ちついた雰囲気が出たこと。
- 2班～ 模型をきれいに作ることができた。また、ビルの屋上に芝生をたくさん作れたこと。
- 3班～ 緑を多く配置できたこと。
- 4班～ 緑を多く採り入れたこと。
- 5班～ 建物の形を工夫してうまくできたこと。
- 6班～ 公園や建物が個性あるものができたこと。

思うようできなかったところは何ですか？

- 1班～ 計画的にビルを作っていなかったため、街全体のバランスを崩すような建物ができてしまったこと。
- 2班～ 緑が少なく、建物が大きすぎたこと。
- 3班～ 建物の高さのバランスが悪かったことと敷地いっぱいに建物を建てたこと。
- 4班～ 建物の形がうまくできなかったこと。
- 5班～ 樹木が少なかったこと。
- 6班～ 建物との間隔や建てる位置が上手くいかなかったこと。

他の班と模型をつなげて見たときの感想や反省点

- 1班～ 建物のバランスが一番悪かったこと。
- 2班～ 緑が少なかったこと。
- 3班～ 樹木がどの建物にも並んでいて統一感があったこと。
- 4班～ 街っぽくなっていたが、建物の高さがばらばらであったこと。
- 5班～ 全体的に他の班と比べて建物の高さが低かったが、高さはそろっていたこと。
- 6班～ 他の班より建物が小さく、個数が多かったこと。

まちなみ模型の完成



第5章 まちなみ観察・調査研究 (STAGE 4)

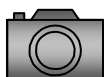
夏休みの活動 - まちなみ観察・調査 -

夏休みを利用して、実際に自分の住んでいるまちを徒歩又は自転車で観察し、まちなみの良いところや気になるところなどを自由にカメラで撮影することにしました。

家族や友達と旅行やキャンプに行ったときは、印象に残った場所や風景を撮影し、あとで自分のまちと比較してみることにしました。

Check まちなみ観察レポート作成

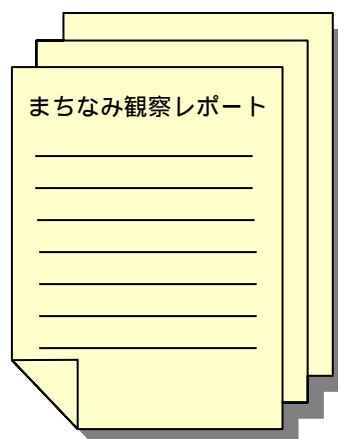
各自、できあがった写真を整理して、夏休み明けの授業で発表する内容をまちなみ観察ノートにまとめておきます。



レンズ付きフィルムを生徒に一個ずつ準備しました。



フィルムの現像等の費用も都市計画課で負担しました。



1 4 時間目 - まちなみ観察・調査報告 -

夏休みの課題として実施したまちなみ観察・調査について、良い景観・悪い景観の写真をそれぞれ一枚ずつ選んで、撮影場所、理由などについて発表を行いました。



調査事例



[撮影場所]

生目台団地

[撮影理由]

家の大きさがバランスよく建っている。また、家の周りに緑がたくさんある。



[撮影場所]

福岡市天神周辺

[撮影理由]

左側の店の旗がきれいに揃っている。また、街灯がおもしろい形に統一されている。



[撮影場所]

花山手の住宅地

[撮影理由]

道路を挟んで木や花などの緑が多くて良いと思った。



[撮影場所]

生目台6号街区公園

[撮影理由]

周りに緑が多い。家がきれいに並んでいる。また、広い公園があり便利。



[撮影場所]

生目台市営住宅

[撮影理由]

住宅なのに緑がたくさんある。また、黒と白のタイルがうまくマッチしている。

調査事例



[撮影理由]

ゴミが散乱していて、周りも汚く見えた。

[都市計画課コメント]

こうしてマナーを守らず、どこにでもゴミを捨てると見た目にも汚いまちという印象を受けますね。



[撮影理由]

山並みにマンションがポツンと建っていて景観を阻害している。

[都市計画課コメント]

せっかくきれいなスカイラインがあるので大事にしたいですね。



[撮影理由]

普通の通りに自動販売機があつて良くないと思った。

[都市計画課コメント]

垣根などの緑も採り入れた住宅街の通りに赤などの目立つ色の自販機があると景観を阻害してしまいますね。



[撮影理由]

色が周辺の景観と合っていない。

[都市計画課コメント]

周辺の景観に合った色とは、どんな色かな。



[撮影理由]

建物の色が周りの風景と合っていない。色が派手すぎる。

[都市計画課コメント]

建物の色によって、通り全体のイメージも大きく変わりますね。

第6章 景観教室の学習を振り返って (STAGE 5)

1 5時間目 - 景観の学習を終えて -

感想

生徒のみなさんに、景観教室の学習を振り返って感想文を書いていただきました。全文を掲載することができませんが、その一部をご紹介します。

あまり自分たちの街をよく見たことがなかったのですが、景観学習によって自分たちの悪い環境などを見つけ出す、良い学習になったと思います。自分たちでまちなみを考え、模型づくりをしましたが、思うように進まずとっても大変でした。

景観のレポートの発表で、ある人が良いところを発表したら、次の人がその場所を悪いところで発表していた。人それぞれだなと思った。環境と景観がどう違うか全く分からなくて、写真を撮ったら全部環境のことを撮っていた。その間違いで環境と景観の違いなどが良く分かった。

他の班の人は家の屋根を工夫したり、ラップをいろんなところにはってたりと工夫しているところがたくさん見えた。僕たちの班の模型は他の班のものをつなげたときに、全体的に合っていなかったと思う。もう少し、他の班の作品を見て考えて作れば、他の班とも合っている模型が作れたと思った。

この景観学習を学んで、最初は全然興味がなく、何がいいのかわかりませんでした。でも、だんだんやっていってとても面白くなって景観に対して関心を持つようになりました。まずびっくりしたことは、こういう専門の会社みたいなのがあることにびっくりしました。普通こういうのは建築士がやると思っていたのに専門の人がいることにとてもびっくりしました。

自分たちでも街をつくってみて楽しかったです。たくさん線を入れて工夫もしました。しかし、大きすぎるマンションを建ててしまったため、他の班とバランスが合わなくなり、本当にバランスって大事だなと思いました。これからも多くのよい景観とかを見つけて行こうと思います。また自分が将来、家や店を建てる時なんかは、まわりの景観のことを考えてみようと思います。景観学習でたくさんを知れて本当によかったです。

景観学習を通して感じたことは、物をつくるのは大変だけど楽しいのだということと建物の配置は考えて行わないといけないということです。僕は社会を選択してよかったと思っています。社会を選択したおかげで貴重な体験をすることができました。この景観学習を通していろんなことが勉強できました。本当に良かったです。

夏休みに街の景観を写真で撮りに行ったとき、街にはとても奇妙な建物がたくさんあって、街を汚していると思いました。僕が撮った写真の良い景観は楽しいデザインの白い交番です。撮った理由は暗い景色の中に白い交番があると、街が明るく見えて良いと思うからです。悪い景観は低い建物の多い街に一つだけ大きい建物がある街です。撮った理由は一つだけ大きい建物があるとおかしいと思ったからです。他にもいろいろな景観を撮って、とてもよい勉強になりました。

今回、景観学習ができて良かったと思う。それは普段の勉強ではあまりすることがないと思うし、また、これはとても大切なことだと思うからです。もし、僕が将来これに似たような事をするとしたら、このことを活用したいと思う。

模型づくりは一人一個作ることにした。僕はビルを作った。だけどでかく作りすぎてしまった。あと、切る担当もした。最初はうまく切れなかったけど、切り方を教えてもらってうまく切れるようになった。授業を受けて、街とかもそういうつくりになっているのかなと思った。

この学習で調べたりすることや、模型づくりなどをすることがとても大変だったけど、やり終えたときには充実感などがあってとても楽しかったです。この学習で学んだことを無駄にしないようにしたいです。今度またやってみたいと思いました。

夏休みに良い景観、悪い景観を見つけるときに思ったことがあります。宮崎には派手な色を使ったパチンコ屋、ゲームショップが多いなと思いました。夜は暗いので色にはあまり気がつかなかったけど、昼間になると目立っていました。こういうものが街の景観を壊しているのだなと思いました。景観教室は意外に早く終わってしまっていて残念だったけどいい勉強になりました。街に出てみるときは良い景観、悪い景観を探しながら歩きたいと思います。

最後にみんなが作ったのを合わせてみたら、とてもすごくよいまちなみがそこにありました。緑がいっぱいの街や建築物がいっぱいの街などは、いろいろたくさんみんな考えたのだらうなと思いました。

夏休みの宿題は、初めの方はどこを撮ればいいのか分からなかったけど、自分の家の近くにもいろいろな建物があり、その建物を今までとは違った目で見られるようになりました。自動販売機は、今までは別にあまり気にしていなかったけど、今見てみるとあまりよくないと思うようになりました。家などを見るとときも形や色を見るようになって、身近な所にもいろいろな建物があることを実感できました。

夏休みに入り、景観を写真で撮るという宿題が出ましたが、僕には景観というのはほとんど目に入らず、ただあればいいというようなことを思っていました。このカメラで「景観を撮る」という動作が初めてで、まじめに「景観を見る」という動作につながり、いろいろな景観をみて、景観には悪いものもあれば良いものもある。例えば、表紙の写真は自然が少なくても、少しあればまだ良い方だと思う。次の写真ではひとつの建物が少し高いということで、僕にとっては悪い方だと思いました。まあ、ひとそれぞれだと思います。

初めはどんなまちなみになるのかなと楽しみでした。早速模型づくりが始まり、まずは土台づくりからでした。思ったより簡単に出来て次に何をするかますます楽しみになりました。次に作ったのは建物づくりでした。建物は長さも図ったり、組み立てたりするのが大変で一番難しかったです。みんないろいろな形の建物を作っていてすごいなと思いました。自分たちもすごくきれいなまちなみができました。終わったときは、すごい達成感を感じました。

模型を一回合わせてみたときは、それぞれの班でそれぞれの建物をつくっていたから、高さもバランスもとてもバラバラでした。でも、それから建物を動かしたりして、最後にみんなの分を合わせたときは、最初よりはよくなったと思いました。それと模型づくりで緑があるのとないのでは全然違うことも分かりました。緑はやっぱり重要だと実感しました。

街の模型をつくって、縮尺や高さのバランスを考えてつくったけど、みんなの班を合わせたら高さがバラバラの気がした。どの班も緑を多く入れていて、きれいな街になった。目線を下げてみたら本当の街みたいにみえてすごいなあと思った。

この景観学習で習ったことをいかして、今住んでいる所をもっと見直して住みやすい町にしたいなと思いました。そのためにも、まずは自分にできることを少しずつ見つけていこうと思います。私たちが作った町みたいに、自然などがたくさんある町が増えていったらいいなと思います。写真を撮った中で、よかったところはずっとこのままで、悪かったところはちょっと直せば、その町の雰囲気になれるのではないかと思います。今住んでいるところが、もっともっと住みやすく、見る人たちも「こんな町に住んでみたいな」と思うような町にどのようにしたらいいのか、これから考えていきたいです。

夏休みの宿題だったまちなみの写真を撮る作業で、いろんなところを、気をつけて見てみると、今までは気がつかなかったまちなみのよいところや悪いところに気がつきました。それに、あまり行ったことのないところも観察できて、知らなかったところも知ることができました。私が見つけた中では、悪いところの方が多かったです。その理由が、雰囲気が周りとは合っていない、ひとつだけ高すぎるといったものでした。だから、模型づくりのときは、建物の大きさや高さに気をつけました。

景観教室とは何か最初はぜんぜん分からなくて、他の学校での学習の様子や取り組みなどをみて私にも出来るのかとても不安でした。大変だったことは、いくつかあったけど、1つは、その作る建物の高さや横の広さなどを班の人たちに合わせることでした。1人ひとりアイデアがあっても、1つだけ高すぎても変だし、大きすぎてもいけなくて、とても大変でした。

一番楽しかったのは模型づくりでした。初めの方は箱を作って並べるだけかと思ったけど、道路を作ったり、木をつくったりしたし、建物もいろんな形にしてよいまちなみができるか考えながら作りました。だから完成して、他の班とくっつけてみて想像していた以上に、本格的なまちなみがつくれていたのでびっくりしました。他の班はとても大きな建物が目立っていました。

模型をつくっていたときに、写真とかも思い出しながらつくっていたら、ここのところは良いから模型にもいかそうとか、ここの部分はもう少し悪いと思うという点が出てきたかもしれなかったので少し残念でした。あんな「まち」ができれば、自分が作ったところに是非行きたいです。

「街をつくる」と一言でいっても、緑の量、建物のデザイン、歩道づくりなどたくさんの工程があってとても大変でした。とくに緑の木は導線の中身をわざわざ取り出して、それをくるくるねじって、ボンドで緑のスポンジ状の

ものをくっつけるなどで、一つ一つ手の込んだものになりました。

全部の班の模型をつなげてみて、いろいろ思いました。この班の、この建物がいいなあとか、これはすごくおもしろいとか思いました。また逆に、この建物は街に合わないなあ、これはどうかなあとか思うものもありました。街をつくっていくには、街の建物のバランスを考えてつくっていかないといけないなあと思いました。それに住む人のことも考えなければいけないと思いました。街づくりはたいへんだ！！と思いました。

夏休みの宿題でいろいろな場所の写真を撮っているときや、撮ったあとは、出かける時にあまり意識はしないけれど、あの店がどうだとか、あの家はどうかとか、少しずつ考えるようになりました。今、私は街の景観を変えたりすることはできないけれど、大人になって店を建てたり、家を建てたりするときには、まわりとの景観を考えたいと思いました。あと、これは景観とは少し違うけれど、ごみなどが落ちていたら拾おうと思いました。

景観教室は、はじめやっけていて模型づくりだけかと思っていたけど、野外に出て自分の足で歩いて街の景観を見られたし、普通に素通りして歩くより、時々立ち止まってあたりを見渡した方がどんな場所かも分かるし、普段めったに通ることのない道を歩いたので、その場所がどんなところかも分かった。それにきれいな道、家、建物、少し奇妙な家や道など探すことができたし、何より歩いていて、どこも花や緑が多かったので、ずっと歩いていても気分が良かったし、歩いているだけで楽しかったです。

あとがき

平成14年度から始めたこの「景観教室」も今年で3年目となります。将来の景観形成の担い手である子供たちに、少しでも景観に対する興味や関心を持ってもらえるように、景観やまちづくりに関する話題や具体の事例をたくさんとりあげました。

どの生徒もはじめは「景観」と言われても理解できていないようでありましたが、感想文を読んでもみると、良い景観・悪い景観の調査とまちなみ模型づくりなどを通じて、少しは景観に対する意識も芽生えたのではないかと感じます。将来の宮崎のまちづくりや景観づくりに携わる生徒が出てくることを大いに期待しています。

人にやさしい宮崎

思いやりの心にみちた豊かな宮崎

自然と環境を守り、スポーツと文化に親しめる宮崎

平成17年3月発行 宮崎市都市整備部都市計画課
〒880-8505 宮崎市橋通西1-1-1
TEL .0985(21)1811 / FAX .0985(21)1816

